

できるか、それを納得していただけるかが課題です。

ご本人が望む生活を実現するために個別支援計画がありますが、形式的な面談では本当のニーズは引き出せません。日々の生活の中で数々の場面を共有することで、コミュニケーションを図り共通の認識を持ちたいと思います。

また、昨今の人材不足で世話人の確保が難しくなっていますが、従来のサービス提供方法にこだわることなく、より効率的なシステムを構築することが喫緊の課題と捉えています。

原点に立ち返り『安心』とは何なのか、『心豊かに過ごす』とはどのような状況を言うのか、時代に合ったグループホームのあり方を検討・実施してまいります。

安心でその人らしく暮らしていただくために

福島育成園
管理者 長谷 弥朋

福島育成園管理者を拝命致しました長谷弥朋です。

昨年度は法人理念と行動指針を福島育成園の玄関等に掲示し、職員全体で「障がいのある方が安心して心豊かにすごせるように」を心掛けるよう意識をして取り組んでまいりました。

福島育成園は平成11年に開所し、利用されている方や保護者の皆さま、地域の皆さまのお力添えを頂き18年目を迎えることができました。利用されている方もそれだけ年齢を重ねてきた事になります。現在取り組んでいる活動の内容や支援のあり方などの見直しを行う必要性を感じており、今年度の課題だと感じています。福島育成園を利用されている方々が安全に、安心して、その人らしく活動や取り組みに参加していただく事ができるよう、また生活をしていただく事ができるよう内容を検討してまいります。

一方で、平成26年度より行ってまいりました改修工事で館内の内装工事や外壁の補修などを行い快適な環境にすることができました。今年度は一層快適にすごせるよう、また、ご利用されている方の日常の活動や生活に支障を来たす事が無いよう、設備の修繕や入れ替えなどを行っていかねばならないと考えております。

法人の理念にありますように、障がいのある方が心豊かに過ごすことができるよう、その人にとってどの

ような支援が、どれだけ必要なのかを考えながら、日々の支援を行い、利用されている方お一人おひとりの気持ちに寄り添ってまいります。

今年度も地域の皆さまや保護者の皆さまのお力添えを頂きながら、新しい職員体制のもと福島育成園職員一丸となって福島育成園をご利用される方が充実し安心して活動や生活を行うことができる支援を行ってまいります、引き続きご指導の程よろしく願いいたします。

会員交流会を開催しました

3月は会員同士の交流が深まるように「茶話会」を行いました。

各支部より30名を超える方々にご参加頂き、自己紹介をした後で将来のこと・支部のこと・保護者間のこと等を聞かせて頂きました。「やまゆり園の事件の直後に全国育成会の久保会長が出された『私たち家族は全力で守る』のメッセージに感動した、育成会の存在をもっと周知させたい」とのお話もありました。

続いて、会員の方を中心に構成されたグループ「ぼっかぼか」さんにご登場頂き、どのような活動をされているのか発表して頂きました。

障がいへの理解を深め、障がい者が住みやすいまちになることを願って、子ども達にも楽しく理解できるように、障がいについての紙芝居を作って地域の学習会・小学校へ出前授業をされています。この日は「みんなちがってみんないい」をテーマに、自閉症の男の子がクラスの友達や先生に支えられ成長していく様子を描いた紙芝居の披露と、手袋を使って障がいの疑似体験もさせて頂きました。子ども向けと言っても、障がいの説明は分かりやすく丁寧で、互いの違いを認め合いつつ、共に学び育つことの大切さを知るねらいで行われています。2月には小泉理事長と共に大阪市の研修会で発表され、24区から出席されていた方々のアンケートで大変良い評価を得られました。

今後は大阪市育成会としてもぼっかぼかさんと手を携えて啓発活動を行ってまいりますので、皆様のご協力、応援をお願い致します。そしてこれからもこのような交流の場を大切にしていきたいと思いますのでご参加をお待ちしております。

平成29年度年間行事予定について

5月14日(日) 大阪市障がい者スポーツ大会

【卓球】

(長居障がい者スポーツセンター)